



■ はじめに	1
■ CEOメッセージ	2
■ CSR対談	5
■ 日産のCSR	10
● 日産のCSRの発展プロセス	11
● 日産CSR重点9分野	17
● 日産CSRスコアカード	20
● ステークホルダー エンゲージメント2006	24
■ 事業活動報告・コーポレートガバナンス	25
● 「日産バリューアップ」進捗状況・ 2006年度決算概況	26
● コーポレートガバナンス	29
■ ステークホルダーへの価値の向上	36
● お客さまのために	37
● 株主・投資家の皆さまとともに	44
● 社員とともに	46
● ビジネスパートナーとともに	54
● 社会とともに	60
■ 地球環境の保全	71
■ 安全への配慮	100
■ 社員一人ひとりが考えるサステナビリティ	110
● パフォーマンスデータ	116
● 事業等のリスク	118
● 第三者意見書	119

公平性と透明性をポリシーに、 迅速で正確な情報開示の継続に努める

日産の投資家向け広報(IR*)活動の基本は、公正性と透明性を高めた情報開示を継続的に実践することです。機関投資家のみならず、証券アナリスト、多様化する個人投資家の皆さまとのきめ細かなコミュニケーションを通して、誤解のない正確な情報を伝えることにより、株式市場の期待を適切なレベルに導き、企業の本質的価値と市場価値の一致を目指しています。また、株式市場からのフィードバックを経営に活用することは、日産の長期的な企業価値創造において欠くことのできない要素です。そのため私たちは、すべての株主・投資家の皆さまが満足感を持って、的確な投資判断をしていただくために必要となる情報の開示に取り組んでいます。

*IR: インベスター・リレーションズの略。株主・投資家向け広報

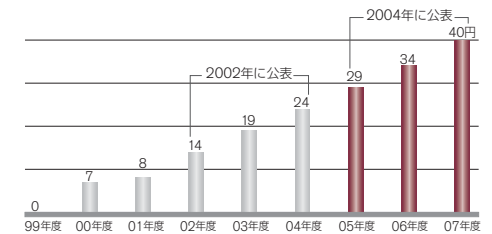
明確な配当政策をお約束

2004年6月23日に開催された定時株主総会において、「日産バリューアップ」の配当政策を発表しました。株主還元の透明性を高めるため、長期的な配当政策を提案しています。具体的には2005年度:29円/株、2006年度:34円/株、2007年度:40円/株という金額をお約束しています。

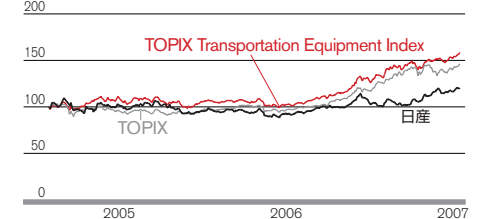
資本市場から信頼される公正で透明性のある情報開示を強化

世界160カ国以上に市場を持つ日産は、資本市場における適正な株価形成のために、ディスクロージャー(情報開示)においてもグローバルレベルの公平性と透明性の維持に努めています。そのため、投資家の皆さまのニーズに対応した情報開示をいっそう強化すべく、決算結果のみならず、製品や技術などの基礎情報の開示も行っています。また、日産の経営戦略を継続的に理解していただくために、経営者層と直接対話していただく機会も増やしています。日産は、株主や投資家の皆さまが今後の業績をより正確に予測するうえで有益となる情報を、迅速かつオープンに開示することにより、長期的な株主価値創造に貢献できるIR活動の推進に取り組んでいます。

●配当計画の公表(円/株)



●過去3年間の株価パフォーマンス
(インデックス:2004年3月31日=100)



Link

IRに関する詳しい情報は、次のホームページに記載しています。あわせてご覧ください。
<http://www.nissan-global.com/JP/IR/>

■ はじめに	1
■ CEOメッセージ	2
■ CSR対談	5
■ 日産のCSR	10
● 日産のCSRの発展プロセス	11
● 日産CSR重点9分野	17
● 日産CSRスコアカード	20
● ステークホルダー エンゲージメント2006	24
■ 事業活動報告・コーポレートガバナンス	25
● 「日産バリューアップ」進捗状況・ 2006年度決算概況	26
● コーポレートガバナンス	29
■ ステークホルダーへの価値の向上	36
● お客さまのために	37
● 株主・投資家の皆さまとともに	44
● 社員とともに	46
● ビジネスパートナーとともに	54
● 社会とともに	60
■ 地球環境の保全	71
■ 安全への配慮	100
■ 社員一人ひとりが考えるサステナビリティ	110
● パフォーマンスデータ	116
● 事業等のリスク	118
● 第三者意見書	119

1,742名の株主の皆さまにご出席いただいた株主総会

2006年6月27日、横浜での2回目の開催となった日産自動車(株)の「第107回定時株主総会」には、1,742名の株主の皆さまにご参加いただきました。総会では、2005年度の営業および中期経営計画「日産バリューアップ」の進捗状況を報告し、2006年度の業績見通しについての説明を行いました。また、2010年に予定していた横浜への本社移転を2009年とすることを発表。総会後は、日産の企業市民としての取り組みを紹介するビデオの上映、経営層が出席する懇談会を実施して、株主の皆さまとのオープンで活発な意見交換を行ったほか、会場内に車両やパネルの展示コーナーを設け、日産の事業活動に対する理解を深めていただきました。

日産への理解をより深くしていただくために、個人投資家との対話にも注力

日産は、四半期決算ごとに各種メディアの取材対応、世界各地の機関投資家への個別訪問やミーティング、カンファレンスを通して業績を報告しているほか、個人投資家の皆さまと対話する機会も増やしています。各地で実施される個人投資家説明会や「女性のための投資フォーラム」にも参加し、日産の成長戦略について説明しています。また、日本IR協議会の行ったアンケートでは、「個人投資家向けIR活動に優れた企業」の第3位に選ばれました。



株主の皆さまとの懇談会

Link

個人投資家の皆さまにさまざまな情報をご案内するホームページもございます。あわせてご覧ください。

<http://www.nissan-global.com/JP/IR/INDIVIDUAL/index.html>

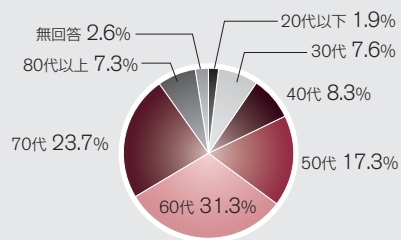


「女性のための投資フォーラム」

個人株主アンケート調査結果 個人株主の皆さまを対象に、はがきによるアンケート調査を実施しました。調査結果から抜粋してご紹介します。

調査実施期間:2006年11月24日~12月31日、回収数32,347票(回収率16.4%)

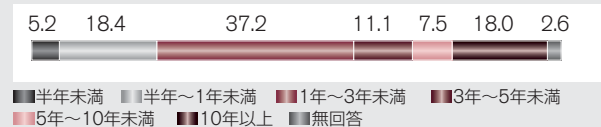
●年代



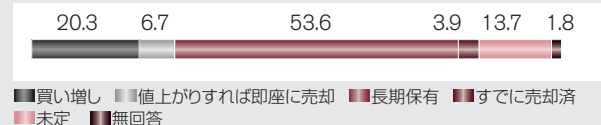
●性別

男性:61.6%、女性24.6%、無回答13.8%

●保有期間



●今後の保有予定



●株式を保有した理由(複数回答):

「配当」(47.2%)、「将来性」(46.0%)、「株価の割安感」(28.1%)、「安定性」(25.1%)

●関心のある日産の情報(複数回答):

「新技術」(50.9%)、「新商品」(42.1%)、「日産バリューアップの内容」(31.3%)、「日産バリューアップの進捗」(28.5%)、「CSRへの取り組み」(18.4%)

●株主還元策としてもっとも期待すること(単数回答):

「増配」(71.1%)、「株式分割」(10.6%)